

## 組合せの基本原則

### 1 ポイント対象試合 [組合せのためのポイント利用]

全日本Jr	8月	← 前2大会 (国体予選+東信総体)
新人	10月	← 前2大会 (東信総体+全日本Jr)
ウインターカップ	2月	← 前2大会 (全日本Jr+新人戦)
国スポ予選	4月	← 前3大会 (全日本Jr+新人戦+ウインターカップ)
総体	5月	← 前3大会 (新人戦+ウインターカップ+国体予選)

### 2 シングルス ランキングポイント (東信)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	best16	best32
22	17	14	12	9	8	7	6	3	1

(順位決定戦を行わない場合、best 4は13P、best 8は7.5Pとする)

### 3 組合せの基本原則

#### ■ シングルス

- ① 上記大会のランキングポイントにより、1位～32位までを順位に従ってシードする。
- ② それを超える場合は機械抽選とする。
- ③ 同点の場合は、直前の大会のランキング順に上位とする。
- ④ 直前の大会のポイントが同点の同一校選手は、校内ランキングを優先させる。
- ⑤ 同一校の選手は同ブロックに偏らないよう配慮する。3～4、5～8、9～16、17～32の範囲ごとに検討する。
- ⑥ 中学生以下については、シード対象大会および中学生以下の東信大会・県大会の実績によりポイントを考慮する。

**県総体の際に、年間ランキング ベスト8入賞者にランキング証を授与する。**

- ⑦ 総体・新人はトーナメント方式で行う。  
国スポ・全日本・ウインターカップは予選リーグ・決勝トーナメント方式で行う。  
ただし、試合方式を変更することもある。(ウインターカップ以外はベスト8以上の順位決定戦を行う。)

#### ■ ダブルス

- ① 総体は、新人の1～4位の同一ペアが出場する場合は新人のランク順にシードする。  
残りのランキングについては、ペアを組む選手の合計ポイントの高い順にシードする。
- ② 新人は、ペアを組む選手の合計ポイントの高い順にシードする。
- ③ ペアのポイントが同点の同一校ペアは、校内ランキングを優先させる。
- ④ 同一校ペアが同一ブロックに偏らないよう配慮する。3～4、5～8、9～16の範囲ごとに検討する。
- ⑤ ポイント対象試合は、「総体は新人+ウインターカップ+国スポ」・「新人は総体+全日本Jr」とする。
- ⑥ トーナメント方式で行う。(順位決定戦は行わないが1～8位のランクはつける。)

#### ■ 学校対抗

- ① 総体は新人の1～8位をそのままシードする。
- ② 新人は総体の1～4位をそのままシードする。  
5～8位はシードするが、ポイントを考慮しながら抽選する。
- ③ シード校以外は、ポイントを考慮しながら抽選で位置を決める。
- ④ 前大会のシード校が不参加場合は、下位校のランクを順に繰り上げる。
- ⑤ 試合方式については変更することもある。